

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校

総務部

第73号

2010.12.16

**ロボコン山梨出場
高校芸術文化祭開催
生徒会役員決まる
甘利山登山競歩大会開催
ご存じでしたかサッカー定期戦**

ロボコン山梨大会で上位独占

第18回ロボコン山梨が11月20日(土)、アイメッセ山梨にて行われました。同時に山梨テクノフェアが開催されました。本校からは高校生の部Ⅰ(対戦型ペットボトル立て競技)に電子機械科・システム工学科から3台(19台エントリー)、高校生の部Ⅱ(ソーラーカー競技)も電子機械科・システム工学科から2台(22台エントリー)、自由参加の部(水汲みロボット競技)に情報技術科・理数工学科・ロボット工学部から13台(20台エントリー)が参加しました。結果は、高校生の部Ⅰに3位 アルセイユ(電子機械科・システム工学科)とストライカーΣⅤ(電子機械科・システム工学科)に入賞し、高校生の部Ⅱに出場した韭工2(電子機械科・システム工学科)が見事優勝。自由参加の部に出場したロボット工学部が1位～3位の上位を独占しました。以上のように高校生が参加できる3部門で、本校は上位を多数独占しました。



高校芸術祭開幕

第31回山梨県高等学校芸術文化祭が、11月4日に開催されました。総合開会式は、山梨県民文化ホールで行われました。1部式典の後、本校応援委員会の三井翼君と初鹿友樹君の司会により各高校応援団の演舞の披露が行われ、大会を盛り上げました。本校からは写真部・太鼓部・茶道部・囲碁将棋部・工業科・美術同好会が参加し、4部門での入賞を果たしました。

工業科

工業科では製図の授業で課題に取り組みます。電気科の佐藤建悟君(韭崎東中出身)は電気屋内配線図を正確に描き見事金賞に選ばれ、芸術文化祭賞もあわせて受賞しました。

写真部

11月11日より7日間の日程で、県立美術館一般ギャラリーに於いて写真展が開催されました。高文連加盟32校から279作品が展示され、最高賞の芸術文化祭賞を3年生浅川祥輝君(甲府北中出身)の作品「日々・鍛錬」が受賞しました。浅川君は昨年の大会に引き続き2年連続の受賞になります。卒業後は大学へ進学し、写真関係の勉強を続け、今後も活躍が期待されます。また、1年生ながら初出場の丸茂徳章君(須玉中出身)「大根採ったよ～」が優秀賞に選ばれ、来年福島県で開催される第35回全国総合文化祭に出品が決まりました。これで本校から20年連続で全国大会に出場が決まり、大きな節目を迎えることが出来ました。これに満足することなく今後の活躍に期待したいと思います。

太鼓部

11月20日、甲斐市敷島総合文化会館に於いて、郷土芸能部門発表会が開催されました。今年は秋をテーマに曲が構成されました。最初は戸惑っていた生徒たちも次第にイメージを掴みはじめ、本番では秋を表現することができました。会場の観客の多くが、他校の関係者という完全なるアウェーでの演奏でしたが、出場校6校中2位の優秀賞を受賞しました。創部10年目の節目となった今年、このような賞を受賞することができ、生徒たちには大きな自信につながりました。来年は最優秀を受賞して欲しいと思います。



美術同好会 本校から初の出場となった今回は、1年生の3名が出展しました。丸山先生の指導の下、休日や放課後、初めての大型作品に一心に挑む姿が見られました。上位入賞常連の強豪校からの出展が大部分を占める160点にも及ぶ作品の中から、1年3組深澤太輝君（葦崎西中出身）「空」が優秀賞（文化祭賞3名に続く上位7名）に選ばれました。額のない作品は本校のみという悪条件下でしたが、独創的な構図と繊細なタッチが異彩を放っており、高く評価されたと思われます。辛くも全国大会出場は1票差で逃してしまいましたが、予想以上の快挙でした。他の2名も選出はされなかったものの、初めてとは思えない堂々たる存在感があり他者に引けをとらない作品で観る者の足を留めさせていました。3名ともまだ1年生であるので今後の活躍が期待されるところです。



生徒会役員が決まる 11月4日（木）に行われた生徒会員選挙において、生徒会会長に宮城究丞君（甲府北西中出身）、副会長には井上京香さん（白根御勅使中出身）と保坂青君（葦崎西中出身）、文化局長には塚越啓君（甲府西中出身）、体育局長には奥村一輝君（甲府東中出身）が選出されました。先輩達の残した足跡に新たな1ページを加えられる様に頑張ってください。



忍耐・甘利山登山競歩大会 11月5日に第43回甘利山登山強歩大会が、男子は甘利山展望台往復30km、女子は樫池往復21kmのコースで行われました。秋晴れの天候に恵まれ、木々の色づいた林道を各自の目標タイムを目指して健脚を競い合いました。このコースは距離もさること、標高差が1153mもある難コースでもあります。完走・タイム・順位など目標に違いはあれど、ゴールするとその充実感や達成感を味わった。そして、早朝より保護者たちが作成した暖かいトン汁を味わうことで、より感動的なものとなりました。特に今年は1年生の活躍が目立ち、学校生活の良き1ページを飾りました。次に成績上位者を紹介します。好タイムに拍手です。



男子：①堤 成範(3-6:長坂中) ②大柴 結人(1-3:葦崎東中) ③石川 蒼(2-4:甲府東中) ④相吉 匡(3-1:長坂中) ⑤丸山 浩(3-4:双葉中) 女子：①小山 利穂(1-3:須玉中) ②大塚 美華(1-1:葦崎西中) ③中澤 早紀(3-4:葦崎西中)

注：(学年-クラス 出身中学校)

サッカー定期戦開催 12月3日（金）、第44回葦崎工業高校対葦崎高校職員親睦サッカー定期戦が開催されました。この行事は、毎年高校サッカー選手権大会県予選が終わった後、職員の親睦を目的に実施している。親睦と言いながら、両チームとも勝つために試合前から作戦を立て、職員同士が熱い戦いを繰りひろげました。他校の職員同士の対抗試合は県下でも珍しく、サッカーの町葦崎ならではの行事です。今年は、葦崎市営グラウンドを会場にし、葦崎高校の「緻密な作戦」が功を奏して3-2で葦崎高校が勝利しました。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp